

# 新県議会スタート 日本共産党山形県議団結成



## 発言機会も倍に

4月12日投票の県議選において、日本共産党は渡辺ゆり子(山形市)、関徹(鶴岡市)と2議席獲得し、前回失った議席を回復し倍化しました。

4月27日には、党派結成届けを提出し、日本共産党山形県議団(代表 渡辺ゆり子)となりました。

党派構成は、その他に自民党30名、県政クラブ9名、公明党1名で無所属が2名となっています。

改選後初の臨時議会が5月15日から21日までの日程で開催されます。この議会で議長、副議長選が実施され、議会役職が決まります。また、各議員の所属委員会も決定されます。

\* 共産党議員団として1名から2名へ議席増になった意味は大きいものがあります。地域的にも分野別にも県政においての関わりは、倍以上になります。議会の発言機会も倍となり、県民要求実現の力が大きくなります。県議とともにより選挙中に寄せられた様々な声を代弁して県政に反映させる



2議席を回復し、がちり握手する渡辺県議と関県議

2015年5月17日  
-1号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅: 山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

**ゆり子の視点**

**まだまだ選挙が続きます**

4月の選挙で一段落しましたが、県内では、市町村現に活躍している和を守る議席です。中間選挙があり、貴重な議席です。まだまだ気が抜けません。特に、安倍政権の悪政の下で日本共産党の議員が「いしくお願いたしません。」と「いいない」市議選に応援に来る「と」で大きく違っており、それぞれの自民党、福祉、平治体で住民要求実暮らし、福祉、平

て辺野古米軍基地建設を強行する安倍政権、それに対する抗する沖縄県民と知事。減どころか強大な新基地建設強行、アメリカのアジア侵略の拠点の木地建設づくりに憲法9条がなくなった状態だ」との講師のお話を

胸をつかれました。しかし安倍政権が強行しようとするほど立ち向かうオール沖縄の力が全国支援も含めて大きくなっていることを実感しました。「憲法9条が生きて国づくりを全国で進めよう」との呼びかけを上げましょう。



5月3日 講演する仲山弁護士(中央)

## 戦争立法許さぬ

今月中にも安倍政権が集団的自衛権行使容認の具体化である関連法の国会提出を狙っています。しかし、「憲法9条は守ってほしい」の声が、どの世論調査でも過半数です。

2日の街頭宣伝では、「戦争する国づくりをストップさせ、子どもたちに憲法

## 憲法集会に参加

9条の平和のバトンを手渡そう」と訴えました。

3日は、「憲法を考えるやまがた集会」に参加。沖縄県弁護士会の仲山忠克弁護士による講演、「沖縄から憲法を訴える」が参加者に感動と勇気を与えました。沖縄の民意を無視し



5月1日メーデー山形県中央集会であいさつする渡辺ゆり子県議

霞城公園で開催された第70回山形県中央メーデーに参加し、激励と連帯のあいさつを行いました。集会後は、五月晴れの下、参加者と